

## 令和5年第7回 吉田町教育委員会

---

- 1 開催期日 令和5年6月21日(水)  
開会 午後 3時10分  
閉会 午後 5時25分
- 2 場 所 中央小学校 会議室
- 3 出席委員 塚本 成男 北澤 雅恵  
増田 真也 中村 成宏
- 4 議場に出席した者の職氏名 教 育 長 山田 泰巳  
生涯学習課長補佐 松永 満 学校教育課長補佐 山村 加奈子  
主席指導主事 水嶋 浩之 指 導 主 事 平井 奉子  
指 導 主 事 浅井 健 学校教育課統括 川本 貴浩
- 5 傍聴人数 0人

### 次 第 (会議録概要)

---

- 1 開 会
- 2 教育長の報告 資料No.1
- (1) 報告事項 6月の教育委員会の行事について
- (2) 町内教職員の状況 交通事故(物損)について
- (3) その他 リーディングDXスクール重点校訪問について ほか
- 3 会議録署名委員の指名 中村委員
- 4 議 事
- (1) 第11号議案 吉田町図書館協議会委員の任命について 資料No.2  
・事務局説明 ⇒ 採決 ⇒ 異議なし ⇒ 原案どおり承認
- (2) 報告事項
- ア 生徒指導について 【非公開】資料No.3

- イ 児童生徒の区域外就学について 【非公開】資料No.3
- ウ 指定学校変更の許可について 【非公開】資料No.3
- エ 部活動の在り方協議会について 資料No.4

(委員からの質疑・意見)

- ・保護者は、クラブチームに入る場合と部活動に入る場合の費用を比べたり、種目ごとの費用も比べたいと思うので、費用の周知は必要だと思う。ただ、費用が高くてやりたい種目ができないというのも問題だと思うが、町が部費などを負担しないのか。⇒ これからいろいろな課題を洗い出して整理をしていかななくてはならない。部費など全体的に補助するのか、経済的に厳しい家庭だけにするのか。消耗品購入費や指導者報酬も、全額受益者負担でいくのか行政が補助するのか、いろいろな課題が浮き彫りになってくると思う。
- ・地域クラブの定義について、現在有料でやっているスポーツクラブもこの地域クラブに該当するのか。⇒ まだ決まっていない。地域クラブの認定条件を設定していかないといけないと考える。
- ・新しくゼロベースで吉田町の在り方をつくる、どういう形で中学生の居場所として、これまでの部活動が担ってきた役割を担うような新しい組織が吉田町としてつくれるかどうかだと思う。どういう形が理想的なのかからつくっていくのが良いと思う。本当にやるのであれば、お金を出してちゃんとした指導者を呼んで、町として認定した地域クラブができて、大会に出るのか、スポーツを楽しむのか方針は分からないが、子供たちがやりたいことに時間を使えるというのが理想だと思う。そこを決めないと進めないと思うので、できれば教育委員会の場や総合教育会議で町長を含めて、吉田町としてはこういう形で、これまで部活動が担っていた役割を担う新しい仕組みをつくりたいという方針を示すことが大事だという気がする。
- ・今あるスポーツ少年団や体育協会の中で、指導者として協力できるとアンケートに答えているところもあり、文化協会だと、活動の時間帯が授業時間となるため、一緒に入ってというのは現実的に無理ということや、ソフトランニング教室は夜やっているの、夜ならば参加できるなど、いろいろな状況の中で、町としてどういう形を最終形としてイメージしていくかというところを考えたときに、どういう課題をクリアしなくてはならないのかということも洗い出しが必要になってくると思う。来年からは難しいと思うが、今後どういうスケジュールで進めていくのか示していかないと保護者も混乱や不安感も生まれてくると思うので、スケジュールと目指すイメージ的な姿を描いていかななくてはならない。

### (3) 協議事項

- ア 令和4年度吉田町教育委員会事務事業点検・評価について 資料No.5

(委員からの質疑・意見)

**【教育委員会の会議の運営改善】**

- ・今後の方向性、上から2行目「共有化し」は「共有し」ではないか。⇒「共有し」に修正する。
- ・今後の方向性の2段落目。意見交換を十分にできるように検討すべきだとは思いますが、会議の回数を増やすことも検討課題に入っているのか。⇒定例会12回、プラス臨時会ということで、会議の回数を増やすというよりは、案件によって考える。

**【教育委員会の情報発信】**

- ・教育委員会はあまり知られていないので、広報紙で特集できないか。⇒ホームページに教育委員会の会議録を昨年から随時載せているが、それだけでなく、「教育委員会とは…」という広報紙での情報発信も一つの手段と考える。
- ・吉田町は、すごく情報交換が闊達にできていると思う。町長との総合教育会議も、本当に忌憚のない意見が出されている。膝を突き合わせて素直な情報交換が形式的なものではなくて、本当に思っていることが言い合えている。

**【教育委員会と事務局との連携】**

- ・修正なし

**【教育委員会と町長との連携】**

- ・総合教育会議だけでなく、卒業式や入学式の時にも町長と話ができて、近い関係性が保たれている。距離が近いということが表現できたらいい。⇒総合教育会議以外の連携も入れていくよう検討する。

**【教育委員会の研修活動】**

- ・一番下の「実施についても引き続き検討の上実施する」の最初の「実施」は知らない。⇒了解

**【学校及び教育施設に対する支援・条件整備】**

- ・教育委員会が管理・執行する業務として、文化財はどこが管轄しているのか。⇒文化財は生涯学習課の管轄だが、所管施設ではない。
- ・点検・評価に、文化財は入っていないのか。⇒项目的に、学校及び教育施設に対する支援になっているので、文化財は入っていない。想定しているのは、総合体育館、図書館、理科館である。どういった視点で点検評価するかというのは、各自治体に委ねられているので、これまではこの項目でやったが、そういう視点も必要ということであれば、加えてみるなど、点検評価の中の一つとして入れるのは、教育委員会の裁量なので、今後の検討事項にしたい。
- ・最後の「適切な条件整備等につなげていく」というのが、生涯学習課が所管している施設について、適切な条件整備に努めると考えるのか。それとも、学校に掛かって適切な条件整備等につなげていくと考えるのか。⇒両方にかか

る。

5 その他

- ・教育委員報告（吉田町総合計画等審議会について：塚本委員）
- ・令和5年第2回吉田町議会定例会について
- ・吉田町教育推進委員会の進捗状況について
- ・今後の教育委員会等の予定について

6 閉 会